

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（かみかわほくぶ） 上川北部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>この地域は、天塩川の支流である安平志内川等の両岸に位置した南北に長い地域と天塩岳（1,558m）、ウエンシリ岳（1,142m）を主峰として、天塩川、名寄川等の集水域となっている山地で、森林の7割がミズナラ・シナノキ・カンバ類を主体とし、トドマツ・エゾマツ等が混交する天然林で占められ、3割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。しかし、道内有数の寒冷地帯であり、厳しい気象条件の影響等から、人工林等においては期待した成長が見込めず、天然広葉樹との混交林化が進んでいる林分が見られるとともに、チシマザサが侵入し、笹生地又は疎林化した森林も分布している。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、地域の水源地として、また、基幹産業である農業及び林業の振興に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。</p> <p>また、優れた山岳景観を有し道立自然公園となっている天塩岳のほか、ピヤシリスキー場などがあり、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、この地域は、林業・木材産業が農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところであり、森林認証の取得等の取組がなされているなど、国有林に対しての期待も高い。</p> <p>このように、当該地域における自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高いものがある。このため本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた森林整備を行うことを目的とする。</p>		
	主な事業内容	森林整備 更新面積 路網整備 保育面積 開設延長 改良延長	103 ha 14,963 ha 14.1 km 2.3 km
費用対効果分析	総費用（C）		1,256,327 千円
	総便益（B）	水源かん養便益	7,375,087 千円
		山地保全便益	4,276,959 千円
		環境保全便益	150,235 千円
		木材生産便益	365,851 千円
		森林整備経費縮減等便益	4,054,890 千円
		計	16,223,022 千円
	分析結果（B/C）		12.91
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		